

第8回SCIXカップ 女子7人制ラグビーフットボール大会 実施レポート



令和4年11月12日・13日

特定非営利活動法人

スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構

スポーツくじ



この大会は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施されています。

【感染対策を取りながらの有観客大会。混戦を制するのは！】

【1日目】

11月12日(土)、清々しい秋晴れの空の下、神戸製鋼灘浜グラウンドにて「第8回 SCIX カップ女子 7人制ラグビーフットボール大会」が開催されました。

主に関西圏における女子選手の強化・普及、ならびに単独チームに所属していない女子選手に大会出場機会を設けることを目的とした大会で、2015年に初回を開催して以来、毎年開催していましたが、一昨年の2020年度は新型コロナウィルスの爆発的流行により残念ながら中止。未だ収束は見えませんが、今年も昨年同様、新型コロナ感染対策に細心の注意を払いつつ開催する運びとなりました。大会要項ならびに注意事項として前述の通り、これまで実施していた試合前の代表者ミーティングは中止とさせていただき、会場到着時には検温＆消毒エリアにてチーム関係者全員の検温を行い、こまめな手洗い、アルコール消毒を励行。また、選手・関係者の皆さんの安全・安心の観点から、保護者等の観戦は指定エリアのみ(人工芝グラウンド南側の土手エリア)とさせていただきました。

未だ続くコロナ禍での開催となった今大会ですが、今年も関西のみならず、中四国や九州のチームを含め、中高合わせて13チームが参加してくれました。残念ながら合同チームとして参加を予定していた CRAZY GIRLS から、大会当日、新型コロナ陽性者が出たとの連絡があり、当初予定していた合同チームが作れなくなったため、急遽組み合わせを変更するというハプニングもありましたが、なんとか開幕することができました。この場で改めて CRAZY GIRLS の皆さまにはお見舞い申し上げます。



前年度の覇者・石見智翠館高校はエキシビジョンマッチのみの参加に！



前回覇者であり、先月熊谷で開催された「全国U18女子セブンズ大会」でも優勝をおさめた石見智翠館高校においては、今回は他の試合と重なってしまったということで、ベンチメンバーで編成されたチームでの出場となり、エキシビジョンマッチのみの参加。最有力候補なき大会とはなりましたが、前々回王者の京都成章高校はじめ、SCIX カップ常連校の追手門学院高校、鳴門渦潮高校、四日市農芸高校、四日市メリノール学院高校に加え、我々が SCIX ラグビークラブも「第8回 SCIX カップ」の栄冠を手に入れるべく満を持して臨みます。

今大会も例年同様、大会1日目はプール予選会として、計7チームによるプール戦を実施。チーム数の関係から今年はA、B、2つのプールに分かれ、プールAの4チームは各チーム2試合、プールBの3チームは各チーム3試合、合計9試合を行います。加えて、中学生チーム5チームによるエキシビジョンマッチ6試合、さらに石見智翠館高校 A、B と関東学院六浦高校 A、B、各2チームによるエキシビジョンマッチ2試合の合計17試合を行います。



プール A は鳴門渦潮高校、追手門学院高校、メリノール学院高校 A の 3 チーム。一方のプール B は京都成章高校、四日市農芸高校、メリノール学院高校 B、SCIX ラグビークラブ(以下 SCIX)の 4 チーム。当初第 1 試合はプール A の追手門学院高校と合同チームの CRAZY GIRLS による対戦が 10 時から行われる予定でしたが、前述の通り CRAZY GIRLS が不参加となりましたので、今大会初日の予選プール第 1 試合は、10 時 20 分よりプール B の京都成章高校と SCIX(合同チーム)による戦いで幕が上がりました。SCIX のキックオフで試合開始。雲ひとつない青空に楕円球が舞い上がります。序盤、SCIX も果敢にタックルをし、相手の攻撃を阻みますが、初トライは京都成章高校に。その後もなんとかトライを奪おうと応戦する SCIX ですが、28-0 で前半終了。この秋からコーチが代わり、新たに鈴木敬弘氏と今村順一氏が指導

にあたっている SCIX。流经大柏高校→流通経済大学→神戸製鋼コベルコスティーラーズという経歴をもち、現役時代はフランカーとして活躍した鈴木コーチが、この日はウォーターボーイとしてグラウンドを駆け回ります。一方、今村コーチは、2006 年神戸製鋼コベルコスティーラーズ引退後、2009 年にも SCIX でコーチとして指導にあたっていた経験があり、今回コーチに返り咲き。この日運営スタッフとして活動している SCIX 事務局や OB、OG、男子チームの現役メンバーも、新生 SCIX に期待を寄せます。

後半開始の笛が鳴り、SCIX も心機一転 1 トライをあげようと攻防しますが、後半も 4 トライをあげられ、54-0 というワンサイドゲームで試合終了。京都成章高校の強さが際立つ結果となりました。



続く第 2 試合はプール A の鳴門渦潮高校と追手門学院高校の対戦。追手門学院高校のピンクのジャージがグリーンの芝に映えます。実力が拮抗し、一進一退のこの戦い。7-7 と両チームとも 1 トライ 1 ゴールで試合を折り返します。後半は追手門学院高校が 2 トライ 2 ゴールで鳴門渦潮高校を突き放し、14-0 でノーサイド。

第 3 試合は再び SCIX が登場。四日市農芸高校と対戦しました。前半は 28-0 と四日市農芸高校が力の差を見せつけます。後半、待ちに待った SCIX の本日初トライが決まり、大会本部からも拍手が湧きます。コンバージョンキックも決め 7 点を返す SCIX。ここから一気に巻き返しを図りたいところですが、後半も四日市農芸高校に 2 トライ 1 ゴールを決められ 40-7 で四日市農芸高校の勝利。午後の試合で一矢報いることができるか!? 大会主催チームでもある SCIX への期待が高まります。

この後は中学生チーム 4 チームによるエキシビジョンマッチが行われ、中学生とは思えぬスピード感&迫力ある攻防に、頼もしささえ感じました。エキシビジョンマッチ 2 試合を終え、昼休憩タイム。早めに昼ごはんを済ませ、午後からの試合に備えグラウンドでアップするチームの姿も見られました。

強豪・京都成章が予想通りの強さを発揮。予選全勝突破なるか？

およそ 30 分のブレイクを挟み、午後の部が開幕。鳴門渦潮高校対メリノール学院高校 A の試合は 0-26 でメリノール学院高校 A に軍配。続くメリノール学院高校 B は四日市農芸高校に 0-22 で敗れ、ワンサイドゲームが続きます。そして、ここでプール B の無敗同士、京都成章高校と四日市農芸高校が対戦。結果は 22-7 で京都成章高校の勝利。プール B ラストのメリノール学院高校 B との対戦を残し、京都成章高校の全勝となるか!?

再びここで中学生チームによるエキシビジョンマッチ3試合が行われ、追手門学院高校-メリノール学院高校 A、そして SCIX-メリノール学院高校 B の対戦と続きます。なんとか 1 勝あげたい SCIX。大会本部席の SCIX メンバーからも「カンカン！行け～！」などと選手への声援が飛びます。その甲斐あってか、前半に 2トライ 2 ゴールで 14 点を獲得。後半 2 点差まで詰め寄られましたが、そのまま逃げ切り見事 1 勝をおさめた SCIX。本部席から選手 & コーチ陣へ大きな拍手が送られました。

続くプール B のラストゲーム、京都成章高校対メリノール学院高校の試合は 27-5 で京都成章高校が勝利し、予選プール全勝という結果に。そして、この日最後の 2 試合は石見智翠館高校 A-関東学院六浦高校 A、石見智翠館高校 B-関東学院六浦高校 B というエキシビジョンマッチで締めくくられました。



予選プールの結果を受けて、メリノール学院高校 A、追手門学院高校、四日市農芸高校、京都成章高校の 4 チームが翌日のカップ戦に、鳴門渦潮高校、SCIX、メリノール学院高校 B の 3 チームがプレート戦に進みます。さあ、全チームの頂点に立つのはどこな

のか？そして MVP は誰の手に？翌日の決勝リーグへと続きます。

■参加チーム

【高校の部】

SCIX ラグビークラブ、石見智翠館高校、追手門学院高校、鳴門渦潮高校

四日市農芸高校、四日市メリノール学院高校、京都成章高校、関東学院六浦

【中学の部】

ガールズ兵庫、広島ドルフィンズ、福岡レディース、京都 JOINOUS、伏見ガールズ

【欠場チームについて】

※「CRAZYGIRLS+京都精華+滋賀 BREEZE」の合同チームは参加者にコロナ感染者が出たため、急遽、大会参加を取りやめることになった。

【高校の部エキシビジョンマッチについて】

石見智翠館高校と関東学院六浦高校については、都合により初日のみの参加となったため、大会結果に影響のないエキシビジョンマッチとすることになった。

■結果

- ① 10:20～10:35 B 京都成章 ○ 54-0 × SCIX(合同)
② 10:40～10:55 A 鳴門渦潮 × 7-21 ○ 追手門
③ 11:00～11:15 B SCIX(合同) × 7-40 ○ 四日市農芸
☆中学 11:20～11:35 ☆ ガールズ兵庫 × 0-24 ○ 伏見ガールズ
☆中学 11:40～11:55 ☆ 京都ジョイナス ○ 17-15 × 広島ドルフィンズ
④ 12:30～12:45 A 鳴門渦潮 × 0-26 ○ メリノール A
⑤ 12:50～13:05 B 四日市農芸 ○ 22-0 × メリノール B
⑥ 13:30～13:45 B 京都成章 ○ 22-7 × 四日市農芸
☆中学 13:50～14:05 ☆ ガールズ兵庫 ○ 24-0 × 福岡レディース
☆中学 14:10～14:25 ☆ 伏見ガールズ ○ 19-0 × 広島ドルフィンズ
☆中学 14:30～14:45 ☆ 京都ジョイナス × 21-29 ○ 福岡レディース
⑦ 14:50～15:05 A 追手門 × 0-28 ○ メリノール A
⑧ 15:10～15:25 B SCIX(合同) ○ 14-12 × 四日市農芸
⑨ 15:30～15:45 B 京都成章 ○ 27-5 × メリノール B
★高校 15:50～16:05 ★ 智翠館 A × 5-17 ○ 関東学院六浦 A
★高校 16:10～16:25 ★ 智翠館 B × 0-36 ○ 関東学院六浦 B
☆中学 16:30～16:45 ☆ 伏見ガールズ ○ 33-0 × 福岡レディース

☆エキシビジョンマッチ(中学生)

★エキシビジョンマッチ(高校生)

『小雨がぱらつく中、始まった決勝リーグだったが・・・』

【2日目】

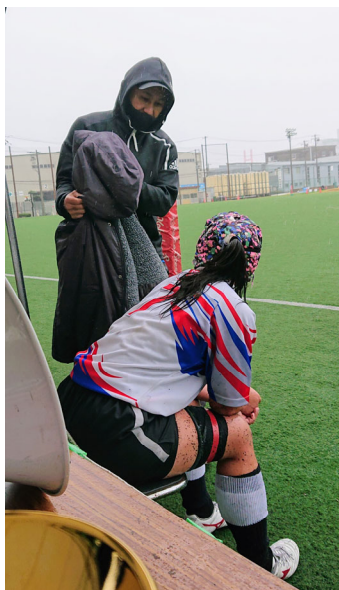
午後から雨という天気予報でしたが、思いの外早くから小雨がぱらつき始めた SCIX カップ決勝リーグ当日。これまで幸い天気にも恵まれてきた SCIX カップだけに、雲行きが怪しさに少々不安を感じつつも、例年同様音響設備も整え、MCによるアナウンスにより決勝リーグが開幕。

前日の予選プール上位チームが激突する、カップ戦 2 試合が続きます。まずは、予選プール全勝の京都成章高校と追手門学院高校の対戦。波に乗る京都成章高校に軍配が上がるかと思いきや、5-20 で追手門学院高校の勝利。2 試合目のメリノール学院高校 A と四日市農芸高校の試合は 17-0 でメリノール学院高校 A が四日市農芸高校を完封。

時間が進むにつれ雨足が強くなってきたため、SCIX の大会運営メンバーが急遽、サッカーゴールにシートを被せ、ベンチメンバー用テントを設置するなど、参加メンバーの体調を気遣い臨機応変に対応します。選手のみならず、レフリーやボールボーイを担当する運営スタッフもびしょ濡れに



なりながら、大会を支えます。



そんな中、我らが SCIX 登場。どんどん雨が激しくなり、グラウンドもスリッピーな状態な中、一瞬の隙にランで逃げ切り、鳴門渦潮高校を相手に一進一退の攻防を見せる SCIX ではありますが、結果は 19-10 とあと一歩及ばず。

その後、中学生チーム、ガールズ兵庫と福岡レディーズによるエキシビジョンマッチを挟んで、前日の予選プールでも全勝同士対決を見せた京都成章高校と四日市農芸高校による対戦が行われました。四日市農芸高校のリベンジなるか!?と注目のこのカード。10-12 と 1 ゴール差の僅差で四日市農芸高校がリベンジという結果に。これで追手門学院高校、メリノール学院高校 A、四日市農芸高校の 3 チームが 1 勝ずつという混戦状態のカップ戦。映えある栄冠の行方が気になります。

昼休憩前ラストのカードとして、再び SCIX が登場し、メリノール学院高校 B と対戦しますが、5-12 でメリノール学院高校に敗れる SCIX。途中シンビンで下がった選手に今村コーチがベンチコートをかけるなど、選手の体調を気遣うシーンが印象的でした。

大雨と寒さ、グラウンド状態も悪く苦渋の雨天中止を決定！

昼休憩タイムに入り、SCIX 大会本部が動きます。理事長・氏家氏が理事・美齊津氏に試合続行について各チームに集合してもらうよう指示。各チーム代表者が大会本部テントに集結します。美齊津氏より、雨足がかなりきついこと、それによりグラウンド状態が悪くなり、怪我を誘発しやすくなること、また気温も低くなりつつあることから選手の体調面を鑑みて、午後の試合については中止にしようか？という意向を告げました。これに、レフリー代表の白井氏も、通常であれば、雷が鳴らない限りラグビーの試合は続行されるが、ユース年代であり、前述の状況を踏まえて判断は各チーム代表者に委ねるとコメント。それを受けて、各チーム代表者も中止を容認。この判断を受け、改めて美齊津氏が「SCIX カップ始まって以来、初めての大会途中での中止となり、主催者としても苦渋の決断ですが、選手の皆さんの体調を第一に考え、今回はやむを得ない」と語ります。これに



より、今大会は順位をつけず、MVP の賞品として準備していたコベルコスティーラーズの選手のサイン入りレプリカユニフォーム 3 枚については、協議ののち後日チームへ贈呈することとなりました。また、リクエストのあったチ



ームには SCIX のシャワー室もご利用いただき、体調に配慮した対応を可能な限りとらせていただきました。生憎の悪天候により、午後の決勝リーグ戦を残し、中止となった今大会でしたが、今後も SCIX カップを継続し、女子ラグビーの普及に努めて参る所存です。今大会も、新型コロナウイルスの感染が収束しない中、コロナ感染対策を取りながらの大会となりましたが、ご参加いただいた皆さまには、感染対策にご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。来年度はコロナ感染の心配のない中で開催できればと思っております。また来年も、この灘浜グラウンドで皆さまとお会いできますこと、心より楽しみにしています。2 日間、本当にありがとうございました。最後になりますが、悪天候によりご体調崩されておられませんこと祈念致します。

■参加チーム

【高校の部】

SCIX ラグビークラブ、追手門学院高校、鳴門渦潮高校、四日市農芸高校、四日市メリノール高校
京都成章高校

【中学の部】

ガールズ兵庫、福岡レディース

■結果(参考)

- ① 10:10～10:25 カップ 京都成章 × 5-20 ○ 追手門
- ② 10:35～10:50 カップ メリノール A ○ 17-0 × 四日市農芸
- ③ 11:00～11:15 プレート 鳴門渦潮 ○ 19-10 × SCIX(合同)
- ☆中学 11:20～11:35 ☆ ガールズ兵庫 × 5-12 ○ 福岡レディース
- ④ 11:45～12:00 カップ 京都成章 × 10-12 ○ 四日市農芸
- ⑤ 12:10～12:25 プレート SCIX(合同) × 5-12 ○ メリノール B

【雨天中止を決定】

- ⑥ 13:10～13:25 カップ メリノール A 0-0 追手門
- ⑦ 13:35～13:50 プレート 鳴門渦潮 0-0 メリノール B
- ☆中学 14:00～14:15 ☆ ガールズ兵庫 0-0 福岡レディース
- ⑧ 14:25～14:40 カップ 追手門 0-0 四日市農芸
- ⑨ 14:50～15:05 カップ 京都成章 0-0 メリノール A

※決勝リーグが雨天中止になったため、今大会は「順位なし」とする。

【大会雨天中止について】

大会 2 日目、11 月 13 日(日)の決勝リーグは朝から雨となり、大会がスタートしたところから本降りとなった。そのため大会本部では、選手たち雨をしのげるようにテントを増設するなど、選手の体調管理を一番に考え大会運営を進めた。しかし昼休憩に入るところには土砂降りの大雨となり、気温も急激に低下し、テントの中で待機中の選手の中から、「寒い…」という声が出始めたことから、参加チームの全監督及び大会レフリーの代表者に集まってもらい「このまま大会を継続するか、中止するか」を協議。ラグビーは基本的に、雨のコンディションでも大会中止はしないという競技特性を踏まえながらも、「雨と気温の低下で選手のコンディションが心配」「寒さで体力を消耗した選手、コロナに感染しないか心配」等々の意見が多数を占めたことから、運営本部の判断として午後の試合は取りやめ、大会中止する旨、全参加チーム 及び大会レフリーの承諾を得て決定した。

【大会運営】

【主 催】

特定非営利活動法人 スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構(SCIX)

【後 援】

神戸市 関西ラグビーフットボール協会 兵庫県ラグビーフットボール協会

神戸市教育委員会 神戸市スポーツ協会

special thanks

【大会レフリー】

白井健三(関西 B)糸井拓哉(関西 B)原延雄(関西 B)是枝剛輝(関西 B)池田吉伸(関西 B)武田正徳(関西 B)植森建次(関西 B)大川貴史(関西 B)是枝剛輝(関西 B)鮫島寿代(九州 B)藤本舞香(九州 B)各氏

【救護班】

ドクター：上田敬博氏 看護師：山根悠子氏

【スタッフ】

SCIX ラグビークラブ

(レポート 中野里美)

SCIXは女子ラグビーを応援しています！

スポーツ振興くじ助成事業

スポーツくじ

